

北海道スバル「健康経営宣言」

北海道スバルは、社員が健康で、いきいきと仕事に取り組める職場環境づくりに努め、社員とその家族の健康維持・増進活動を全力でサポートして行きます。

社員とその家族が心身ともに健康であることにより、社員一人ひとりが個々の能力を最大限に発揮し、職場の生産性の向上並びに組織の活性化につながると考えます。

当社は、「健康経営」の実践に向け、社員・会社・労働組合・健康保険組合が連携し、「北海道スバルに関わる全ての人の人生を豊かにする」を働く意義とした、「No SUBARU, No Life, in Hokkaido!!」を会社のビジョンとし、職場環境の改善を推進して行きます。

社員の健康とワークライフバランスの充実により、豊かな気持ちと笑顔にあふれた対応で、お客様のカーライフに寄り添い、笑顔と信頼を育むことにより、お客様にとってかけがえのないパートナーを目指します。

北海道スバル株式会社
代表取締役社長 中村 亜人



❖ 重点取組み

1. メンタルヘルス対策

- ・ ストレスチェック全社実施、エンゲージメントサーベイを年 2 回実施
- ・ 年次有給休暇 8 日以上の取得を推奨
- ・ 労働組合と連携し、サークル活動を支援及び参加推奨

2. 労働環境の改善

- ・ 工場の熱中症対策として、扇風機を増設・ウォーターサーバー設置・冷感マスク支給
- ・ コロナ対応で、全店に非接触体温計設置し毎日の検温実施、消毒液、アクリル板・段ボールパーテーション配布感染予防を徹底
- ・ ワクチン接種日及び翌日の特別休暇取得
- ・ インフルエンザ予防接種補助
- ・ AED の全店舗配備

3. 生活習慣病予防

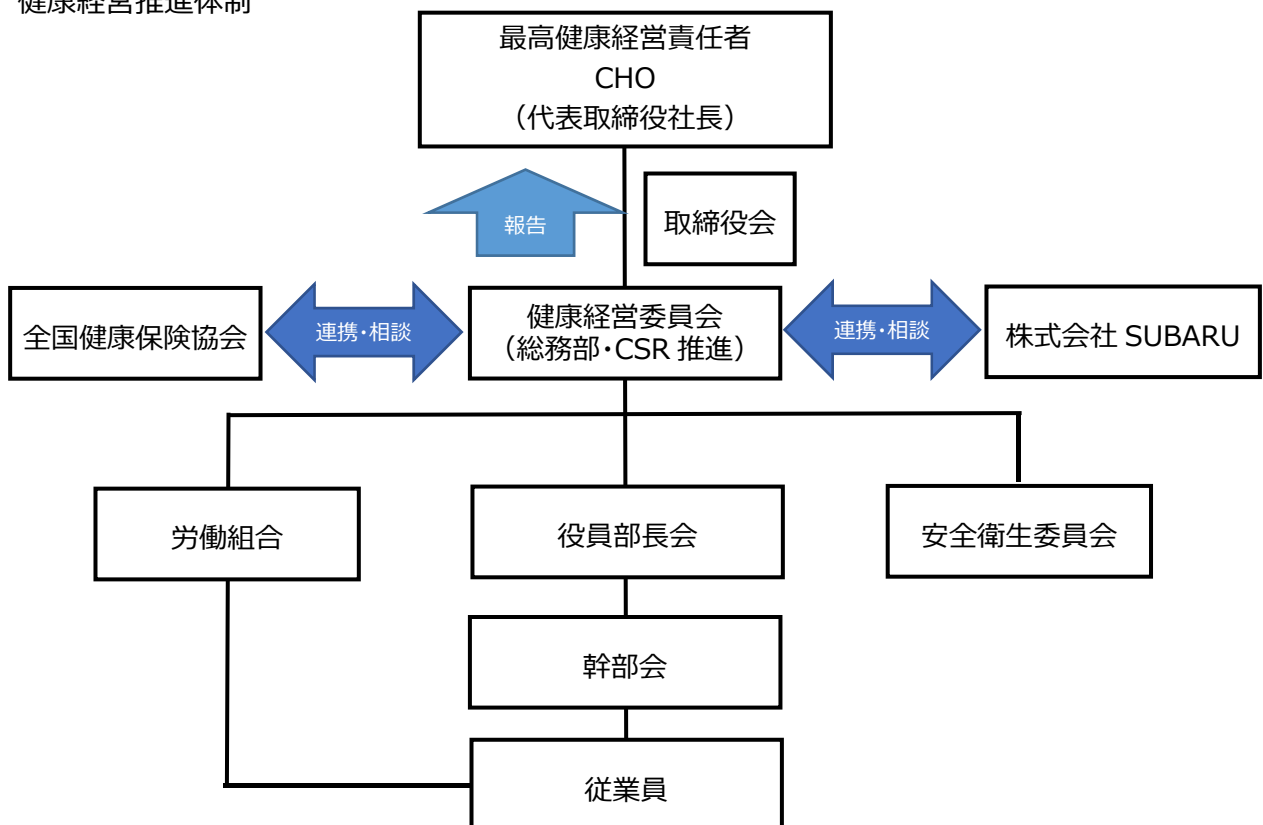
- ・ 健康診断 100%受診、日帰りドック後の再検診の実施率を上げる
- ・ 健康推進アプリを推奨、万歩計でのランキングキャンペーン実施
- ・ 朝のラジオ体操の推奨

4. 受動喫煙対策・禁煙の推進

- ・ 完全分煙と共に、コロナ対応で人数制限のもと使用
- ・ 禁煙外来補助等啓蒙活動による喫煙率低減



❖ 健康経営推進体制



❖ 健康課題

1. 健康課題と主な効果検証指標

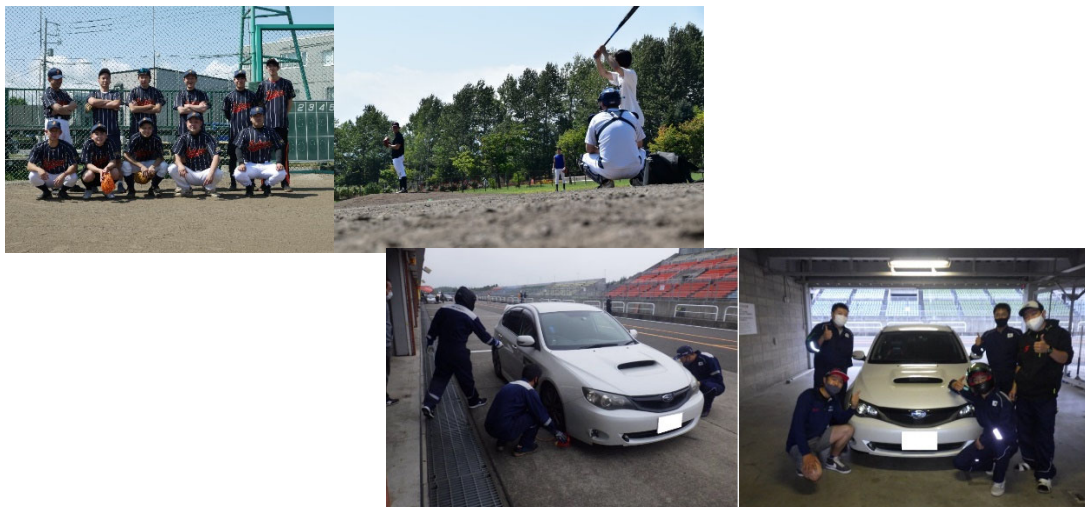
重点取組課題	設定 KPI		2022 年目標	2020 年実績
生活習慣病予防対策	1	健康診断受診率	100%	99.6%
	2	健康診断後再検査受診率	60%	54.4%
	3	特定保健指導実施率	40%	27.9%
	4	BMI25%未満率	60%	58.0%
	5	運動習慣者率	20%	16.1%
喫煙対策	6	喫煙率	40%	44.2%
メンタルヘルス対策	7	ストレスチェック受診率	100%	96.4%
	8	仕事のパフォーマンス総合評価	95%以上	92.9%
	9	エンゲージメントスコア	55.0 (BBB)	44.1 (CC)
	10	平均有給取得日数	12 日	8 日

2. 具体的対策

- 1) 生活習慣改善
 - 朝のラジオ体操の推進
 - 健康推進アプリ（ココカラダイアリー）万歩計ランキング実施
 - どさんこヘルスサポートサービスの推奨
- 2) 喫煙対策
 - 禁煙デーの設定
 - 禁煙外来費用補助（達成者に限り）
- 3) メンタルヘルス対策
 - 労働組合と連携し、サークル活動を推奨
 - 高ストレス者への専門医検診

❖ 健康増進・コミュニケーション機会の創設

当社では、従業員の健康とコミュニケーションの促進を目的として、労働組合と連携し、野球部、モータースポーツクラブ、サバゲー部など様々なサークル活動の支援を実施しています。



❖ 外部機関との連携

当社は、全国健康保険協会 北海道支部の「健康事業所」として認証を受け、健康づくりのサポートを頂いています。 ⇒ [宣言書はこちらをクリック](#)